

# 非核の政府を 求める大阪の会

## ニュース

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉  
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)  
 発行 TEL.06 (6765) 3032 FAX.06 (6765) 3033  
 URL・https://hikaku-osaka.jp/  
 E-mail・hikakuosaka@hotmail.com  
 hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp

第209号 2022年5月1日

### 被爆者に背を向け続ける日本政府

怒り

ノーモアヒバクシヤ  
近畿訴訟で

# 不当判決!

# 願い

## 核兵器禁止条約に 参加するのが被爆者の



3月18日、大阪高等裁判所第14民事部(本多久美子裁判長)、被爆者2名(〇さんYさん)の控訴を棄却する不当判決を行いました。

この裁判は、大阪地裁第2民事部(三輪コト)が、被爆した「放射線量がどの程度かを具体的に定量的に認めることはできない」としてなされた敗訴判決の控訴審判決でした。これまでの原爆症裁判では、何十年前の被爆でどれだけの被爆をしたか正確に判断することはできません。また科学的知見もすべてが解明されていないことから、原告において相当程度に被爆をしていることが認められれば、その後の原告の健康状況等を総合的に判断し、放射線起因性を認めるといった判断を行って

きました。ところが三輪コトは放射線被曝線量の「具体的定量的」な確定という、まさに不可能を被爆者に求める、被爆者援護法の趣旨を無視した被爆者に冷たい判決をおこなったのでした。三輪コトは〇さんYさん以外の被爆者にも同じく不当判決を行っていました。昨年5月に大阪高裁12民事部(別の部です)は地裁判決の間違いを正した原告勝訴判決を行っており、〇さんYさんについても、地裁判決の間違いは正されるべきと、高裁において弁護団は医学的問題についての医師の尋問を行い、三輪コトの判断が、最高裁判決を含めた従前からの判例の立場からいかに乖離しているかを主張してきました。

2. ●●●  
 ところが今回の本多コートの判決は、地裁判決を上回る不当判決だったのです。今回の判決はたったの12ページで、その内容は、

ほとんどが地裁判決の言い回しの修正に終始したものでした。地裁判決に不服がある場合、控訴がされ、高裁での裁判が行われます。高裁では、地裁判決のどこに不服があるのか控訴人が問題提起し、これについて主に審理が行われ、裁判所は判決で、控訴人が問題提起した争点について判決で判断を示すものです。しかし本多コトは、控訴審で控訴人が何を訴えたか、何が争点となったのかを全く整理せず、単に地裁判決の表現を自分好みに訂正しただけの、高裁の責任を放棄した無責任な判決だったのです。弁護団の中では「地裁判決は原爆症裁判の中で最低の判決であったが、今回の高裁判決はわが弁護士人生の中で受けた最低の判決だ」という言葉が飛び交いました。

3. ●●●  
 原告も弁護団も、このような判決でこの事件を終わらせることは

できません。上告及び上告受理申立を行うこととなりました。最高裁での戦いは、厳しいものがありますが、ノーモアヒバクシヤ近畿訴訟最後の当事者の裁判闘争を最後まで全力で取り組む決意を弁護団は固めている次第です。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

- 【非核五項目】
- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
  - ② 国是とされる非核三原則を厳守する
  - ③ 日本の核戦力化へのすべての措置を阻止する
  - ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
  - ⑤ 原水爆禁止世界大会の国際的合意にもとづいて、連帯を強化する



# 65年

シリーズ大阪における  
国民平和行進の歩み ⑥

平和行進：ベトナム人民と連帯し核戦争阻止の闘いのなか

1965年日本原水協は第11回原水爆禁止世界大会成功をめざす方針で全国網の目行進を提起します。この時期の内外の情勢は、ベトナム戦争の拡大にともない、新安保条約下の日本政府の協力・加担が急速に進んでいきます。日本政府の北爆支持表明、日韓基本条約調印、米日韓の軍事・政治・経済協力態勢の強化へ向かっていきます。そうした情勢のもとで、文化人の呼びかけによるベトナム戦争反対国民行動の日で中央段階では一日共闘が実現します。その一方で、総評が日本原水協から脱退し、原水禁国民会議を結成し、原水爆禁止運動の分裂

状態が固定化されていきます。

大阪では安保府民共闘会議の再開ができず、一日共闘もできないまま、9月24日安保破壊大阪実行委員会(大阪安保)が発足しました。この年の平和行進は、日本原水協の提起をうけて7月11日、府下トツプをきつて泉南コースで行われました。泉佐野市役所前を出発、延べ400人が参加。ついで岸和田を通って貝塚市津田川橋で岸和田原水協にリレー。忠岡町、高石町(当

時)を経て和泉市で泉大津・和泉原水協に引き継ぎ、和泉市内を行進し、泉大津から浜寺公園に到着しました。また、12日夕刻には北区原水協、大淀原水協が地域の網の目平和行進を行いました。そして第11回原水爆禁止世界大会平和行進大阪集結集会を17日中之島公園で実施、その中之島公園にむけて府下7コースから国民平和行進が実施されました。7月15、16日に府下網の目行進を実施しました。二日間延べ2400人が参加しました。



▲右：岸和田を行進する、左：泉大津から浜寺に行進(7.1)



16日平和行進集結集会(中之島公園)

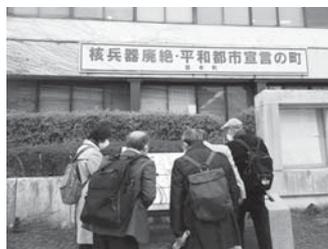
第1コース(池田コース)  
7月15日池田市役所

- ↓箕面市役所↓豊中市役所↓十三大橋↓東淀川区役所前
- 7月16日東淀川区役所↓西淀川区役所↓伝法大橋↓此花区役所↓福島区役所↓桜橋↓南森町↓中之島公園(剣先公園・集結集会)
- 網の目平和行進大阪集結集会
- ↓第2コース(高槻・茨木コース)  
7月15日高槻市役所前↓茨木市役所↓吹田市役所前
- 7月16日吹田市役所↓吹田大橋↓長柄橋↓中之島公園(集結集会)
- 第3コース(枚方コース)  
7月15日枚方市役所↓寝屋川↓門真↓守口市役所前
- 7月16日守口市役所↓旭区↓都島区↓城東区↓中之島公園集結集会



- 第4コース(八尾・布施コース)  
7月15日八尾市役所前↓河内市↓布施市↓三ノ瀬公園
- 7月16日三ノ瀬公園↓生野区↓東成区↓大手前↓中之島公園集結集会)
- 第5コース(河南・東住吉コース)  
7月15日羽曳野市役所↓美陵町↓松原市↓東住吉区役所
- 7月16日東住吉区役所前↓昭和町↓上本町↓中之島公園集結集会)
- 第6コース(堺・住吉コース)  
7月16日堺市役所前↓おりおの橋↓阿倍野筋↓中之島公園集結集会)
- 第7コース(港・大正コース)  
7月16日市立運動場前↓境川↓本田三↓うつぼ公園(合流)↓内本町二↓中之島公園集結集会)
- 大阪港・南恩加島電停↓三軒家↓なにわ筋↓うつぼ公園(合流)↓内本町二↓中之島公園

懇談会を開催しました。参加者は、当会から豊島事務局長ほか8名が、町側からは山田町長(二期目36歳)と、総合政策部人権文化センター所長の矢野さんが列席されました。冒頭、ロシアのウクライナ侵攻が取り上げられました。町議会がロシア非難決議をあげ、町は独自にプーチン大統領あてに町長名で抗議文を送致した旨の説明を受けました。町の非核・平和施策につ



3月29日、当会は島本町と、町長室にて

## 非核自治体を訪問



ター所長の矢野さんからは、町内被爆者推移や町独自の補助制度についてと、町民対象平和事業として、関係施設見学バスツ

いて山田町長は、自身の被爆地広島への修学旅行で学んだことが、いまの核兵器廃絶、平和教育推進に注力する基礎となつていると、熱心に語られました。特に、広島への修学旅行については、事前学習と事後報告会を取り入れていることや、こうした平和教育がしっかり引き継がれていることへの評価と、その一方で、被爆者、戦争被災者の「語り部」から実体験を学び、後世に伝承していくことの重要性を力説され、その機会が失われつつあることへの危惧を訴えられました。当会参加者から「語り部データ」の電子化対応の提起などあり、話が弾みました。人権文化セン



▲山田町長（前列左より2人目）

アーを実施してきた実例や、後世に広島・長崎を伝えていく事業として、今年2月に長崎市から送られてきた「嘉代子桜」の苗木を町長自ら植樹した事例の説明などがありました。1時間ほどの懇談でしたが、山田町長の非核・平和施策への思いが伝わってきました。（事務局）

### 原発 吉井英勝

現実的危険性示した 福島第一原発事故から11年経ちました。2つの問題が浮き彫りになってきたと思えます。一つは、1984年2月に外務省事務次官経験者を理事長に据えている(財)日本国際問題研究所が「原子炉施設に対する攻撃の影響に関する一考察」というのをまとめた「原発テロ」対策についてです。3つのシナリオを挙げています。シナリオの第一は「補助電源喪失」で、福島第一原発事故では「受電鉄塔」が地震で倒壊して補助電源喪失を経験しました。これは「想定内」の事でした。現在ロシアがウクライナ侵略戦争を始め、チェルノブイリ原発への電源を遮断したり、ザポリージャ原発の「送・受電鉄塔」を砲撃して補助電源喪失の状態を生み出したことは、炉心溶融による



原子炉のメルトダウンと爆発を狙ったものと考えられても仕方のないものです。第二に格納容器が大型爆弾で爆撃され、全電源や冷却機能を喪失すること。第三のシナリオとして命中精度の高い誘導型爆弾で格納容器だけでなく原子炉自体が破壊されることを想定しました。ロシアが原子炉を狙ってロケット弾を発射することは、まさにこの第二、第三シナリオを進めていることで、人類史上許されない「人道」に反する犯罪です。二つ目に、3月10日から12日にかけて福島第一原発事故から11年の被災地を訪ねてきました。農民連事

務局長の三浦広志さんから除染と水田農業の復活、後継者が出てこない農地での太陽光発電とソーラーシェアリングで農業の復活に取り組んでいる話を聞きました。地元が農業継続の意思を持たないと、外部から大企業が資本力にものを言わせて農地をメガソーラ発電所にして将来の農業再生の道も封じてしまう問題が出ています。事故から数年の間は田畑は除染土など詰めた放射線量の高いフレコンバツクが黒い色の平野をつくるように、そこら中にありましたが、「中間貯蔵施設」という名の高放射線量の貯蔵地が山の中に作られて、フレコンバツクは田畑からは消えていきました。その後ソーラーシェアリングなど考えない太陽光発電施設がびつしり設置されて、黒い板を張り付けたように田畑を覆い隠してしましました。大企業の儲け狙いの「復興」はダメです。

3月11日は、宝鏡寺で式典が行われ、早川篤雄住職の挨拶、日本宗教者平和協議会の神道を代表しての奥田靖二宮司の祝詞などがあり、午後2時46分に海に向かって原発をなくすことと、核兵器廃絶を願って黙祷を行いました。(ウクライナの地名については寄稿いただいた時期以降に改名されましたので旧名のまま掲載させていただきました) **核なき世界** をめざして⑦ 2015年「ヒバクシヤ遊説inヨーロッパ」バルセロナ市長の涙 ウクライナの映像は、無差別に民間人の命と暮らしが奪われる現代の戦争の悲惨さを、日々、私たちに示しています。居ても立ってもいられない思いで、「ロシア軍は今すぐ撤退を」「侵略やめよ」と声を上げるとき、「パリやベルリン、世界の各地でも、こんな風に

声をあげているのだらう」と思います。世界中の「NO WAR」の声がつながって、1日も早くウクライナに平和が戻るよう、運動を広げたいと思います。それにしても、プーチン氏の核兵器使用を示唆する威嚇発言には、背筋が凍る思いがしました。核兵器は存在してはならない兵器であり、廃絶こそが最大の安全の道だということを実感しました。そして、もう一つ怖いのは、これを機に核に関する議論の開始をおおる動きです。日本維新の会



2015年10月 バルセロナ市長(右端)との懇談

い国土を廃墟とする危険な『提言』です」と撤回を求めました。維新の会は、被爆の実相を知らないのでしょうか。ヒバクシャの思いを聞こうともしないのでしようか。被爆国の政治家として、その資格が問われていると思います。被爆70年(2015年)に、ヨーロッパを回ったヒバクシャ遊説で、私はあらためて、ヒバクシャの証言が各国の政治家の心を大きく動かし、核廃絶への思いを共有できるということを実感しました。

は3月3日、「核共有(ニユークリア・シェアリング)の議論の開始」などを盛り込んだ提言をまとめ政府に提出しました。被団協は、直ちに「日本維新の会の提言は、日本国民を核戦争に導き、命を奪

原爆写真集を贈呈し、いくつかの写真を説明しました。なかでも、「乳飲み子に授乳する長崎の母親」の写真に、女性市長は大きく心を動かされたようです。大粒の真珠のような涙があふれたのでした。そして、「ぜひ、原爆写真展に取り組んでいただきたい」という申し入れに、深くうなづいてくれました。

この遊説は、スペインのバルセロナからスタートしました。古い町並み地区の大きな広場に面したバルセロナ市庁舎は、入るだけでもワクワクする美術館のような建物でしたが、市長との懇談はそれ以上に感動的でした。広島で被爆した家島さんと木村さんのお話に、張りつめた空気が流れます。そのあと、私は

政治も「本物」でなくつちや。参院選で「本物の政治」を取り戻したいですね。長尾ゆり(非核の政府を求める大阪の会常任世話人)

と涙し、共感の拍手を送ってくれました。市長はじめ多くの市職員が参加してくれていました。会場を出ようとしたときには、ふくよかな女性たちのハグの嵐。共感を全身で示してくれました。

## 夏のとりくみ

- ◆春の憲法大学習会
  - 5月21日(土) 14:00 阿倍野区民センター「大ホール」資料代500円 YouTube 生配信あり
- ◆非核の政府を求める会第36回全国総会
  - 6月4日(土) 13:30 オンライン併用
- ◆ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟支援の総括的つどい(仮称)
  - 6月11日(土) 13:30 大阪グリーン会館
  - 講演予定: 高橋博子奈良大学教授
- ◆第66回大阪母親大会
  - 6月12日(日) 13:00 クレオ大阪中央 参加協力費1200円
- ◆2022年国民平和大行進
  - 6月30日(木) 柏原出発集会 ~7月7日(木)

